

コンピューターの使い方

講座 1 「インターネットの活用」

演習 1 「インターネットによる情報収集」

講師 OA インストラクター 大嶋洋子

1 「学んでほしいこと」

現代社会では、パソコンによるインターネットの活用は情報を得る手段として、大切なツールとして広く活用されています。反面、インターネットをめぐるトラブルも絶えません。しかし、近年、障害のある人も、パソコンを生活の一部として活用する人が増えています。つまり、知的障害のある人達にとっても、パソコンは生活を営んでいくうえで上手に、安全に、正しい使い方ができれば、自立を支援する機器として有効な手立てとなると言えます。

今回の講座では、パソコン講座を最初で開催したのは、他の講座の中で必要な情報を得るために、インターネットの正しい活用を学ぶためです。必要な情報や分からない知識を知るために、情報提供や支援に関することが分かるホームページの検索や最も知りたい情報にアクセスをしたり、必要な資料をダウンロードしたりして、有効な情報収集の手段として活用しました。

パソコンは、多様な活用方法がある上に、操作する上でのさまざまな注意が必要です。

講座Ⅰは、情報の収集に関することを目的にした「インターネットの活用」にポイントを置いて、学んでもらいます。

2 『学びのポイント』

- (1) インターネットの活用は初心者を対象に行っています。(但し、パソコンには多少なりとも触れたある方の方が望ましい。)
- (2) インターネットを利用して、日常生活や仕事で必要な情報を検索するいろいろな方法を学んでいきます。
- (3) インターネットを活用する時の危険と、安全に活用するための知識を学んでいきます。

3 『支援のポイントとテキストの活用方法』 (SP=Support Point)

講座Ⅰ

《SP1》支援者の配置

最初に自分でインターネットの立ち上げをしてもらいます。難しい人は手

を挙げてもらいます。手が挙げた人に支援者が行って、その後もその人の近くで、タイムリーな支援ができるようにします。

《SP2》テキストの進め方

最初に文字の入力について、参考資料「文字入力について」を利用して文字の入力方法を確認します。

次に、テキスト「インターネットを使ってみよう！」を使って、インターネットエクスプローラの基本的な操作を行います。また、検索サイト「YAHOO」を利用してキーワード入力やアドレスを入力した情報の検索を行いません。

最後に、テキスト「情報セキュリティ」で、インターネットを利用するときの注意点を一緒に考えていきます。

演習 I

《SP1》

テキスト「インターネットを使ってみよう！」の課題をインターネットで調べて答えてもらいます。

《SP2》

時間に余裕がある場合は、テーマを決めて検索の練習を行い、情報をまとめて「テーマ」と「検索の結果」を発表します。

*《参考》文字の入力の基本は、講師やボランティアさんが講座で指導・支援をするときの参考資料に活用してください。

4 『資料の紹介』

①総務省「国民のための情報セキュリティサイト」(2009)

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/security/enduser/shogaku00.htm

②大嶋洋子「インターネットを使ってみよう！」(2011)

③大嶋洋子「情報セキュリティ」(2012)

5 『講師の感想』

今回の講座では、「インターネットの活用」ということでインターネットの基本的な操作を主に行いました。初めてインターネットを利用した受講生だけではなく、すでに活用している受講生も何人かおられましたので、進めかたが少し難しく思いましたが、支援者の方が上手についてくださったのでとてもスムーズに行うことができました。

また、今回の講座では、講座の進め方や説明の仕方などとても勉強になりました。感謝しています。